

歴史文化伝承館にレストランが開店

5月1日（火）、鶴田町歴史文化伝承館（旧水元小学校）に学舎レストラン「PATATA・パタタ」がオープンしました。

オープニングセレモニーでは、水元保育園の園児たちによるおゆうぎに続き、園児と関係者によるテープカットが行われ、築76年、ヒバ材をふんだんに使用した趣ある木造校舎のレストランが開店しました。

開店後は、地元の方や水元地区出身の方々が訪れ、旧校舎を懐かしみながら、地元の素材を使った手づくりのピザやパスタに舌鼓を打っていました。（営業時間／午前9時～午後5時まで・定休日はなし）



△職員室と校長室がレストランに



△地元の水元保育園の園児たちと関係者によるテープカット



・右／4月25日（水）、安田キセさん（松倉）に町から100歳達成のゴールドメダルが授与される

・左／5月11日（金）、富士見湖パークに園児たちが1万本の花を植栽する



あなたの地区的楽しい催しや出来事などをお役場総務課まちづくり班までお知らせください。（内線263）

野鳥たちのために巣箱を・水元中央小

5月7日（月）、水元中央小学校4年生13人が、愛鳥週間（5月10日～16日）に先立ち、津軽富士見湖畔にある「野鳥の森」に巣箱掛けをしました。

今年で29回目を迎える巣箱掛けでは、 笹森松三さん（津軽富士見湖の自然と野鳥を守る会会長）から、鳥が風邪を引かないように巣箱の入り口を風の入る北向きや西向きにしないことなどの指導を受けた後、児童たちが授業で製作した巣箱をはしごを使って、一つ一つていねいに掛けていました。



△入り口の向きを合わせ取り付ける児童



△みんなの巣箱に今年も野鳥が入りますように！

全校児童でキノコ栽培に挑戦

4月24日（火）、水元中央小学校（野呂良悦校長）体育館で、西北地域県民局地域農林水産部が主催する「キノコ栽培教室」が行われ、全校児童66人がキノコ栽培（シイタケ）の植菌作業を体験しました。

教室では、県民局職員の方からの説明のあと、あらかじめ穴の空けてあるほど木に、シイタケ菌が入ったおがくずを詰める作業が行われ、低学年と高学年の児童が一緒に植菌の作業を行いました。

初めてキノコの栽培を行った児童たちは、「早く自分のキノコ出てくるのを見たい」と成長が待ちどうしい様子でした。



△ほど木、シイタケ菌、植菌器



①児童たちに菌の植え方を説明をする県民局職員 ②上手く菌種のおがくずを入れる児童 ③低学年を高学年が手助けして全員完了

わたしたちの地球を守ろう・アースデイ

4月21日（土）、国際交流会館で町国際交流員のキャサリン・タットネルさんとアレックス・ロザウスキさんが企画する「アースデイ2012鶴田」が開催され、参加した小学生から高校生までの30人が地球環境について学びました。

参加した子どもたちは、ごみを分別する速さを競う「リサイクルゲーム」や、ペットボトルやストッキング、腐葉土を使い、頭の上から芝が髪の毛のように生えてくる人形「草マン」を作りながら、国際交流員



△アースデイに集まってくれた子どもたち



△リサイクルゲーム

と一緒にリサイクルやエコロジーについて学んでいました。

また、同日には、アースデイと同時進行で、町企業の有志の皆さん、役場職員、中央保育所の園児と父母の皆さんが、鶴寿橋周辺の河川敷と鶴寿橋からつがる市までの農免道路（約4km）をごみ拾いし、約1トントンにも及ぶごみを収集しました。

町では毎年クリーン運動を行っていますが、道端や空き地のごみがなくなることがあります。町のためそして地球のために一人ひとりがごみを出さないよう心掛けましょう。

なお、今月号の最終ページに、アースデイで国際交流員のアレックスさんが、「ごみ問題」について子どもたちに教えた内容の一部を掲載しましたので、ぜひご覧ください。



①④



①スライドを使った「エコクイズ」 ②芝の髪の毛がかわいい人形「草マン」（制作してから1週間経ったもの） ③企業の皆さんのが河川敷を一斉にごみ拾い ④役場職員も4kmの農免道路をごみ拾い